

## 令和7年度ひみ未来づくりミーティング議事録（上庄地区）

日時 2025/9/26 19:00～

場所 上庄公民館

出席者 46名

市長、政策統括監、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、防災・危機管理監、消防管理監、地域振興課、地域担当職員

進行 19:00～19:03 市長あいさつ

19:03～19:05 出席者紹介

19:05～19:37 市政の概要について（市長説明）

19:37～20:17 意見交換

20:18～20:20 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	<p>■地域コミュニティの今後について 獅子舞の実演会は難しくなった。八尾のおわらをイメージして、何かできないかと考えたが、難しかった。お金を稼げる獅子舞はないか。①獅子舞ミュージアムの発展と②道路の整備を急ぐこと、川の改修を進めてほしい。</p>	<p>■産業振興部長 ①各地の人手がなく、実演会もなかなか受けてもらえない状況。各地区でも人が少なくて回せなくなった。獅子舞の人手不足解消策についてアンケートをとる予定。</p> <p>■建設部長 ②県境区間については4月に国の直轄権限代行による整備が決定した。谷屋大野区間では、県において整備が進められており、7月に(仮称)上庄橋の右岸側の橋台工事が発注された。今年中を目標に上部工を発注予定と伺っている。また、市においては、現国道とバイパスを結ぶ中村上田線、上庄中央線の整備を鋭意進めている。上庄川の河口側から実施することとなっており、河口の方の設計に入っている。地道に進むため、多額の費用と期間がかかることから、浚渫という作業をしている。市からも県に強く要望していく。</p> <p>■市長 ①獅子舞は今後の課題と考えている。未来に向かってしっかりとつないでいけるように考えていく。</p>
2	<p>■地域の声を行政が拾い上げる仕組みについて 地域の声を行政が拾い上げる仕組みを作る。ひみ未来ミーティングもいいが、若い人も入るワークショップのほうが声が拾いやすいのではないのか。専門的なファシリテーターを育てるのも良いのではないのか。人口減少について、災害復旧は行政主導でやっていってもらわなければならないが、今後農業関係は地域の目が必要だと思うが、地域の目も減ってくる。今後対応できる職員を育てていく必要があるのではないのか。</p>	<p>■企画政策部長 17地区で地域づくり協議会が設立している。上庄はまだ。地域のことは地域で考える。そのために、お金もしっかり使えるようにする。ワークショップを実施しており、各地域において人件費への補助もやって実施している地域もある。</p> <p>■総務部長 技師不足が各地で発生している。現在は対象を50歳まで広げたりと民間からの転職も視野に募集しているが、集まっていない。採用して育てる考えもあり、今後地域を守っていくための人員確保に努めたい。</p> <p>■市長 現在の戦略でのワークショップで突拍子もない意見も出ているので、活かしていきたい。技術職の確保は頭が痛い、あの手この手で確保に取り組む。</p>

3	<p>■学校の設備について 未来づくりのところに学校給食の事業の記載があるが、今後子供が減っていくなか、教育への取り組みが大事だと思う。特別教室や体育館など大変暑い。体育の授業中、大きな扇風機をつけたりしているが暑かった。冷房や送風機を入れるなどの検討は余地があるのか。臨時の処置などはどうか。</p>	<p>■教育次長 学校でのエアコンについては、普通教室への整備は完了しているが、特別教室は未だ完了していない。一気にはできないが、各学校で使用頻度の高い特別教室を指定して進めていく予定である。南部中学校の体育館については、避難所という観点もあるため、エアコンを設置する予定である。暑い日には、大型扇風機を活用するなど、各学校で適切な対応をしていただいている。</p> <p>■市長 天候がこれまでの常識から大きく変わっている。能登半島地震の経験も生かして二つの方向(教育・防災)から整備していきたい。</p>
4	<p>■子どもたちが遊べる場所について 3世代同居しているが、子供たちがもっと遊べる場所を作ってほしい。遊べる場所が少ない。植物園も氷見市にできたが、ほかのところにないものを作らないと氷見市に来ない。夏の暑いとき、雪の日も遊べる場所が少ない。</p>	<p>■市民部長 子どもの遊び場については、児童遊園・街区の遊具設置などは充実している。朝日山公園など遊び場については集約している状況。</p>
5	<p>■毎年の楽しみの演出について ブルーインパルスのようなサプライズ的なもので、毎年楽しさを演出出来たらいいと思う。</p>	<p>■産業振興部長 ブルーインパルスについて、サプライズ的なものを毎年出来たらよいが、既存のイベントでも皆様に楽しんでいただけるように取り組んでいる。</p> <p>■市長 暑くても、寒くても遊べる場所は要望がよくある。羽咋の施設なども参考にしながら氷見らしいものを考えていきたい。</p>
6	<p>■子どもの意見について ひみ未来ミーティングに小中高生がいても良かったのではないかと。以前、唐島までのガラス張りのトンネルがあればなどの意見もあった。アンケートを小中高生にとってもいいのでは。子供の面白い意見を取り入れるのはおすすめである。トト座で小中学生がスケートボードを一生懸命練習していたので、スケートボード整備したらよいのではないかと。</p>	<p>■市民部長 今年8月に県知事と市長と小中学生20名と話し合う場があった。こども実施計画にも取り入れていく予定。</p> <p>■企画政策部長 小中学生、氷見高校生にアンケートを取って現在戦略に取り込むよう精査しているところ。</p>
7	<p>■乾燥機の補助金について 稲作でカントリー持ってくと1時間半かかる。2つあるため、乾燥機の補助金が出ないと聞いている。次世代に、施設がないと続けていけないし、なにか今後補助金など出ないものだろうか。</p>	<p>■産業振興部長 集約化が難しい地域であることは聞いている。具体的な話や実情を今後確認して、考えていきたい。</p>
8	<p>■郵便局がなくなったことについて 今年上庄郵便局がなくなった。今後永遠になくなったままなのか。</p>	<p>■企画政策部長 郵便局は上庄だけでなく、万尾もなくなっている。採算性なども加味してなくなっているときいた。郵便局もJAもなくなるとどこでお金をおろせばいいのかという話も聞いた。地域交通と金融機関をどう繋げていくべきか、私どもも地域を守る視点で考えて行く。 郵政も、最低限の利便性の確保は法律で定められているため、皆さんの利便性が失われないようお願いしていく。</p>
9	<p>■氷見インターについて 線引きの問題もあるが、氷見インターから街を繋げられないか。インターの部分、農地なのか街なのか開発の考え方が複雑になっている。</p>	<p>■市長 おっしゃるとおり、氷見インターから415号から海にむかって整備している。ご意見は受け止めている。インターの部分は氷見の顔だと考えている。</p>